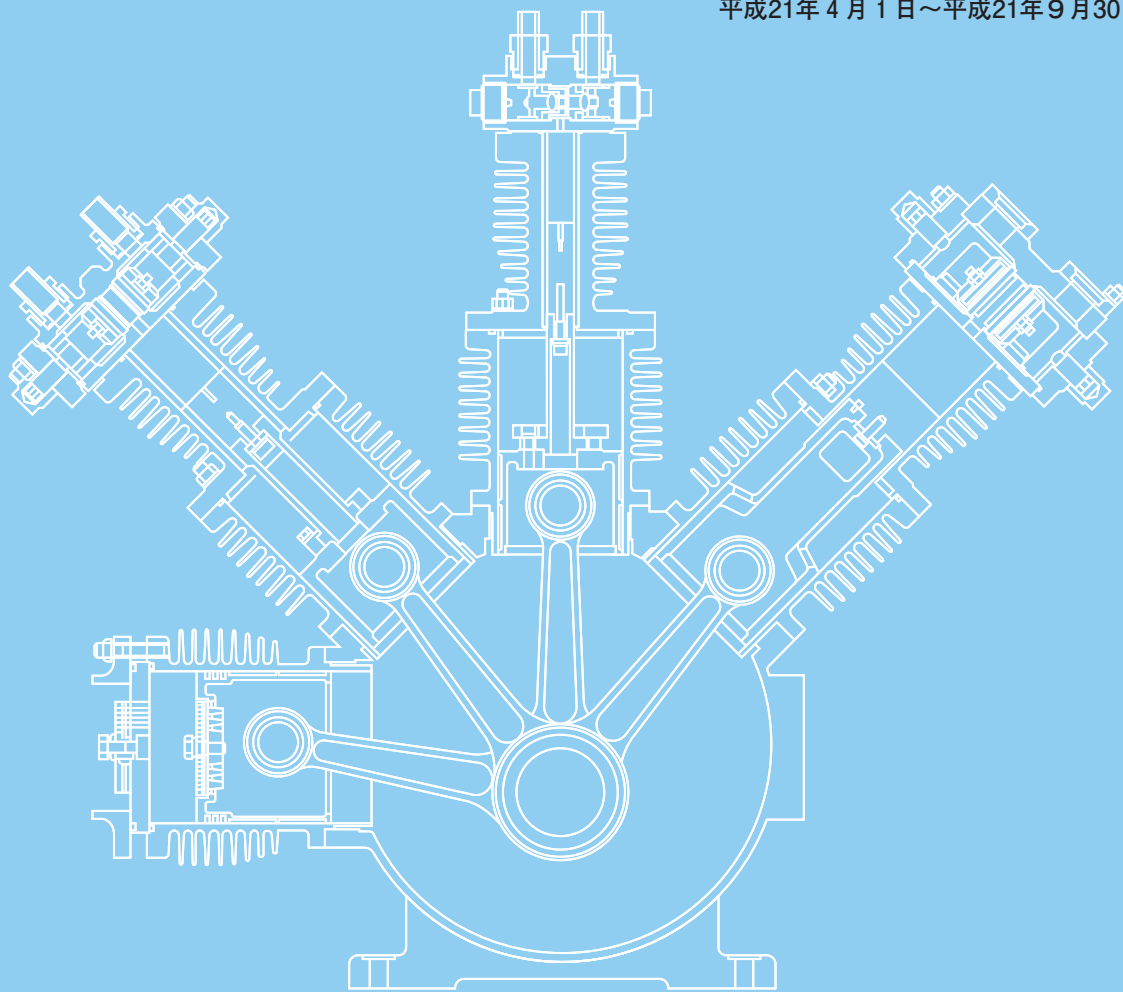


# 株主通信

## 第77期中間報告書

平成21年4月1日～平成21年9月30日



この報告書は、環境に配慮し、再生紙と植物油インキを使用しております。



株式会社加地テック

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平成21年度は、前年の欧米諸国における金融危機後の世界的景気の低迷という市場環境の中でのスタートとなりました。中国を始めとする新興国でのいち早い経済回復と在庫調整の進展により、一時的な需要の激減状態からは脱却したものの、先進諸国の経済は依然として低迷を続けており、不況が長期化することも懸念されています。その間、日本においては平成維新といわれる歴史的政権交代があり、新政権は早急な景気浮揚と長期的な財政規律の是正という難しい課題に直面しています。

このような経済情勢は当社の業績にも直接・間接影響を及ぼしています。10月28日に公表しました第2四半期累計期間の純利益は、期初計画を上回るものでありましたが、その後に表示化した取引先経営破綻に伴う特別損失計上の結果、同期間純損益は約7百万円の損失となる旨業績の修正報告を致しました。この実績と受注状況の現状に鑑み、通期純利益見通しについても下方修正を余儀なくされました。

一方、この4月に公表しております2ヵ年経営計画に掲げた設備投資、技術開発投資、人材への投資を柱とする積極的経営戦略は着実に実行致しております。今後とも鋭意当面の業績改善に努力すると共に、将来を見据えた経営基盤の一層の拡充と持続的成長の実現を目指した諸施策の実現に向け、社員・役員一同一致団結、粉骨砕身する所存であります。

株主の皆様、取引先の皆様におかれましては、何卒ご理解の上、変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成21年12月

代表取締役社長  
小林 士郎

当第2四半期累計期間における日本経済は、個人消費については定額給付金の効果や、エコポイント制度による省エネ家電の売上増、補助金制度によるエコカー、ハイブリッド車の販売好調等に支えられ回復の兆しがみえ始めてはいるものの、今夏のボーナスは大幅に減少し、完全失業率は過去最悪を記録する等、消費全体としては下押し圧力が強くなっています。一方、企業業績に関しては、新興国などの経済回復を背景に輸出や生産に持ち直しがみられるものの、為替相場は円高に振れており、輸出企業にとっては収益圧迫要因となっています。また設備や雇用には依然過剰感があり、平成21年度の設備投資計画は過去最大の落込みになる見込みです。

このような状況の中、当社の当第2四半期累計期間の受注高は2,190百万円と前年同期比67.0%の減となりました。この減少の主な要因として、前年同期は圧縮機部門において中国・韓国向けに化学プラント用特殊ガス圧縮機の大型案件を受注しましたが、一方、当第2四半期累計期間では昨年下期以降の世界同時不況に伴い当社を取り巻く市場環境も極度に冷え込み、受注が減少したことによるものです。

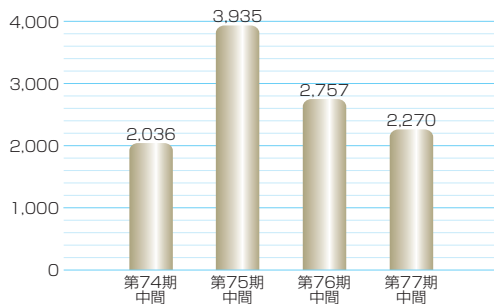
当第2四半期末受注残高は上記のとおり受注が減少した結果、3,351百万円と前年同期比43.3%の減となりました。圧縮機部門は3,340百万円と前年同期比39.0%の減、また繊維機械他は10百万円で前年同期比97.5%の減となりました。

当社の当第2四半期累計期間の売上高は前年同期比17.7%減の2,270百万円となりました。減少の主な要因は、繊維機械部門における売上が前年同期比412百万円減少したことによるものです。尚、主力の圧縮機部門においてはほぼ前年同期並みの売上2,227百万円を計上しております。

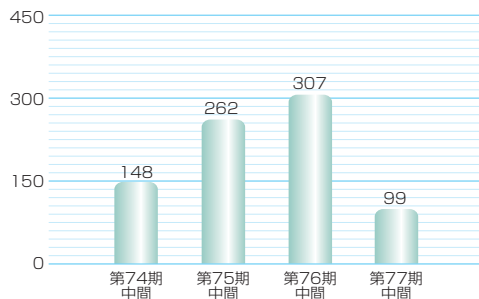
利益面に関しましては、売上の減少に伴い売上総利益が606百万円と前年同期比14.5%の減益になりました。営業利益は主に研究開発費及び貸倒引当金繰入額の増加による販売管理費の増加85百万円があり94百万円で同66.7%の減益、経常利益は99百万円で同67.7%の減益、第2四半期純損失は、当社の取引先である株式会社協立が平成21年10月29日付で東京地方裁判所に民事再生法適用の申請を行ったことから、当該取引先に対する債権112百万円を貸倒引当金繰入額として特別損失に計上したことにより7百万円となりました。

# 業績ハイライト

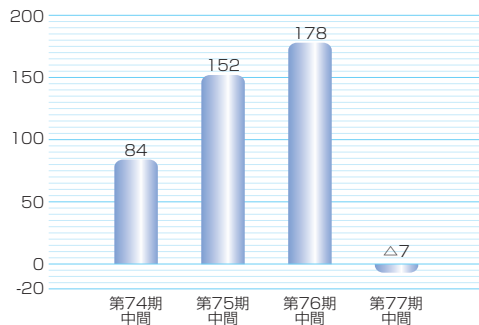
■ 売上高 (単位：百万円)



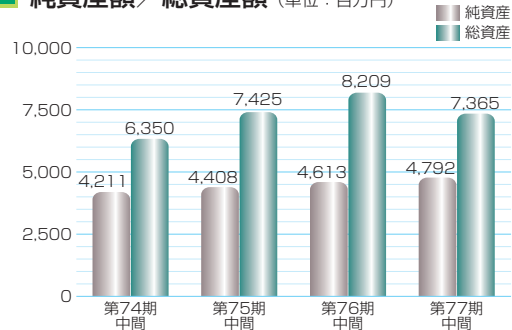
■ 経常利益 (単位：百万円)



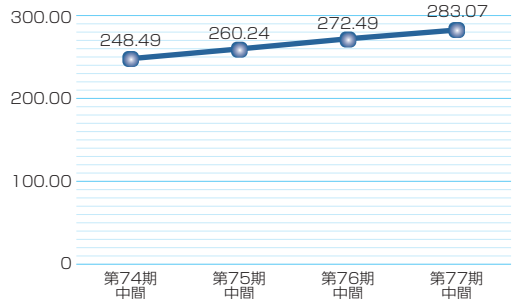
■ 中間純利益又は中間純損失 (△) (単位：百万円)



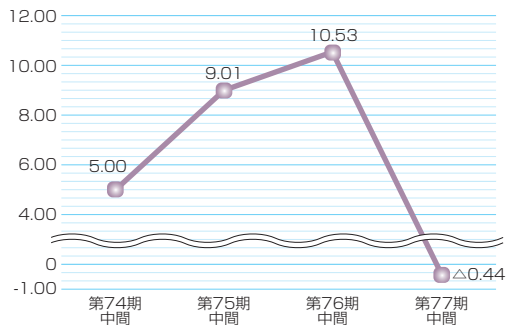
■ 純資産額／総資産額 (単位：百万円)



■ 1株当たり純資産額 (単位：円)



■ 1株当たり中間純利益又は中間純損失 (△) (単位：円)



# 中間貸借対照表 (平成21年9月30日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		金 額
科 目		
<b>流 動 資 産</b>		
現金及び預金		628,490
受取手形		303,576
売掛金		1,086,351
有価証券		100,342
製品		27,414
仕掛品		2,189,825
原材料及び貯蔵品		368,662
預け金		1,200,000
その他		269,646
貸倒引当金	△	24,000
流動資産合計		6,150,311
<b>固 定 資 産</b>		
<b>有 形 固 定 資 産</b>		
建物		120,647
構築物		21,376
機械装置		124,321
車両運搬具		3,482
工具器具備品		46,923
土地		447,525
リース資産		75,854
建設仮勘定		200
計		840,331
<b>無 形 固 定 資 産</b>		
ソフトウェア		5,527
電話加入権		2,879
計		8,406
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券		82,975
繰延税金資産		205,519
破産更正債権		112,645
貸倒引当金	△	112,645
その他の投資		77,935
計		366,430
固定資産合計		1,215,168
<b>資産合計</b>		<b>7,365,480</b>

(単位：千円)

負 債 の 部		金 額
科 目		
<b>流 動 負 債</b>		
支払手形		850,245
買掛金		187,253
短期借入金		220,000
未払法人税等		6,217
賞与引当金		125,500
受注損失引当金		17,700
その他		618,476
流動負債合計		2,025,393
<b>固 定 負 債</b>		
退職給付引当金		443,213
役員退職慰労引当金		36,349
その他		68,230
固定負債合計		547,794
<b>負債合計</b>		<b>2,573,187</b>
<b>純 資 産 の 部</b>		
<b>株 主 資 本</b>		
資本金		1,440,000
資本剰余金		1,203,008
資本準備金		1,203,008
資本剰余金合計		1,203,008
利益剰余金		141,600
利益準備金		625,000
別途積立金		1,416,070
繰越利益剰余金		2,182,670
利益剰余金合計		△ 41,984
自己株式		4,783,694
株主資本合計		8,598
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金		8,598
評価・換算差額等合計		8,598
<b>純資産合計</b>		<b>4,792,292</b>
<b>負債・純資産合計</b>		<b>7,365,480</b>

## 中間損益計算書 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額
売 上 高	2,270,440
売 上 原 価	1,664,237
売 上 総 利 益	606,203
販売費及び一般管理費	511,769
営 業 利 益	94,434
営 業 外 収 益	8,901
営 業 外 費 用	3,868
経 常 利 益	99,467
特 別 損 失	112,645
税引前四半期純損失	△ 13,177
法 人 税 等	△ 5,700
四 半 期 純 損 失	△ 7,477

(注) 1株当たり中間純損失(期中平均発行株式数による) △0円44銭

## 中間株主資本等変動計算書 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)

(単位：千円)

	株 主 資 本		
	資 本 金	資 本 剰 余 金	
		資 本 準 備 金	資 本 剰 余 金 合 計
平成21年3月31日残高	1,440,000	1,203,008	1,203,008
中間会計期間中の変動額			
剰余金の配当	—	—	—
中 間 純 利 益	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—
中間会計期間中の変動額合計	—	—	—
平成21年9月30日残高	1,440,000	1,203,008	1,203,008

	株 主 資 本					
	利 益 剰 余 金				自 己 株 式	株 主 資 本 合 計
	利 益 準 備 金	其 他 利 益 剰 余 金	繰 越 利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金 合 計		
平成21年3月31日残高	141,600	625,000	1,558,986	2,325,586	△ 41,938	4,926,656
中間会計期間中の変動額						
剰余金の配当	—	—	△135,438	△135,438	—	△135,438
中 間 純 利 益	—	—	△ 7,477	△ 7,477	—	△ 7,477
自己株式の取得	—	—	—	—	△ 45	△ 45
中間会計期間中の変動額合計	—	—	△142,916	△142,916	△ 45	△142,962
平成21年9月30日残高	141,600	625,000	1,416,070	2,182,670	△ 41,984	4,783,694

	評 価 ・ 換 算 差 額 等			純 資 産 計
	其 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	
平成21年3月31日残高	4,736	690	5,426	4,932,083
中間会計期間中の変動額				
剰余金の配当	—	—	—	△135,438
中 間 純 利 益	—	—	—	△ 7,477
自己株式の取得	—	—	—	△ 45
株主資本以外の項目の変動額(純額)	3,862	△ 690	3,171	3,171
中間会計期間中の変動額合計	3,862	△ 690	3,171	△139,791
平成21年9月30日残高	8,598	—	8,598	4,792,292

## 中間キャッシュ・フロー計算書(要旨) (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)

(単位：千円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 781,626
投資活動によるキャッシュ・フロー	338,785
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 139,115
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,828,490

## 会社の概要

## 株主メモ

**社名** 株式会社加地テック  
KAJI TECHNOLOGY CORPORATION

**創立** 明治38年5月（1905年）

**会社設立** 昭和9年2月（1934年）

**資本金** 14億4,000万円（大阪証券取引所第二部上場）

**製造品目** **空気及びガス圧縮機**  
水冷・空冷式圧縮機  
給油・オイルフリー・オイルレスタイプ圧縮機  
石油化学・産業ガス用  
電力・試験・一般産業用  
ペットボトルブロー成形用  
天然ガス自動車燃料充填用  
燃料電池自動車燃料充填用  
各種ガス回収精製装置

**繊維機械**  
タイヤコード用撚糸機  
グラスファイバー用撚糸機  
産業資材用撚糸機

**所在地** **本社・工場**  
〒587-0064 大阪府堺市美原区菩提6番地  
TEL：072-361-0881（代表）  
FAX：072-362-4491（総務部）

**東京支社**  
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2丁目20番15号  
高田馬場アクセス3F  
TEL：03-3232-2651（代表）  
FAX：03-3232-2650

**大阪支店**  
〒541-0053 大阪市中央区本町2丁目5番7号  
大阪丸紅ビル13F  
TEL：06-6264-8600（代表）  
FAX：06-6264-8604

**サービスセンター**  
〒275-0023 千葉県習志野市芝園2丁目2番6号  
TEL：047-452-7660（代表）  
FAX：047-452-7666

**事業年度** 4月1日から翌年3月31日まで

**定時株主総会** 毎年6月中

**上場金融商品取引所** 大阪証券取引所市場第二部

**株主名簿管理人兼特別口座管理機関** 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社

**株主名簿管理人事務取扱場所** 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

**郵便物送付及び電話お問合せ先** 〒168-8507  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話0120-288-324（フリーダイヤル）

**特別口座管理機関取次所** みずほ信託銀行株式会社 全国各支店  
みずほインベスターズ証券株式会社  
本店及び全国各支店

**基準日** 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当金 毎年3月31日

**単元株式数** 1,000株

**公告方法** 電子公告（当社ホームページに掲載）  
[アドレス] <http://www.kajitech.com>  
ただし、事故その他やむをえない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。